

8月7日	国連生物多様性の10年「グリーンウェイブ2012」の実施結果について
8月9日	樹木の放射性セシウム濃度の調査結果について
8月9日	木材製品の放射性セシウム表面密度等の調査結果について
8月10日	森本農林水産大臣政務官の国内出張について
8月21日	「第1回 新たな世界自然遺産候補地の考え方に係る懇談会」の開催及び一般傍聴について
8月24日	ロシア連邦のWTO加盟に伴う林産物の輸出税率変更について
8月27日	「林政審議会」の開催及び一般傍聴について
8月30日	きのご原木・ほだ木の当面の指標値に関する見直しについて
8月31日	「平成24年度 第2回 木材需給会議」の開催及び一般傍聴について
8月31日	「平成23年度 森林病害虫被害量」について

## 「世界遺産登録に向けた富士山クリーン大作戦」の実施



8月11日、我が国が世界文化遺産に推薦している「富士山」周辺において「世界遺産登録に向けた富士山クリーン大作戦」が実施され、農林水産省からは森本農林水産大臣政務官、及び岡田関東森林管理局長をはじめとした林野庁職員が参加しました。

このクリーン大作戦は、世界遺産登録に向けた気運の醸成を図るとともに、美しい富士山を後世にいつまでも残していくとの考えを広く普及啓発することを目的として、「世界遺産登録に向けた富士山クリーン大作戦」プロジェクト実行委員会が、吉田口、富士宮口、御殿場口、須走口、富士山頂等の会場において、一斉清掃やセレモニーを行ったものです。

森本農林水産大臣政務官は、富士宮口会場において、セレモニーでの挨拶や参加者へのゴミ袋の配布を行うとともに、自らも清掃活動を行いました。清掃活動には、全会場合計で、約3,500人が参加し、この日1日で約1,400キログラムのゴミが回収されました。

富士山では、クリーン大作戦の後、8月29日から9月5日にかけて、世界遺産委員会の諮問機関イコモスによる現地調査が行われたところです。来年6月にカンボジアで開催される第37回世界遺産委員会において、イコモスによる評価結果を踏まえ、世界遺産登録の可否が決定される予定です。

世界文化遺産として推薦されている資産の大部分が森林であり、特に、静岡県側の森林のほとんどが林野庁の管理経営する国有林野です。富士山の景観は、適切な森林管理を行うことによって保全されています。林野庁では、今後も、国民の皆さんとともに、富士山の魅力の維持・向上を図って



横断幕を掲げる森本政務官及び細野環境大臣

いきたいと考えています。皆さんも、登山マナーの向上にご協力ください。

### 【人事異動】

林野庁長官

沼田 正俊(ぬまた まさとし)

昭和54年東大農学部卒、農林水産省入省。

林野庁森林整備部整備課長、計画課長、森林整備部長、国有林野部長、林野庁次長を経て平成24年9月11日から現職。鹿児島県出身。



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。